

理科 第5学年 ●これまでの学習をつなげよう

検討会の想定問答

指摘 1：本時で何を見取るのか。

返し：「今年の記録を使うと、まだ残った疑問をどう調べられるだろうか」について予想を基に調べる方法を考え、変える条件や資料の選び方の理由を表現している。結論だけではなく、どの事実を選び、なぜその事実で説明できると考えたかを見る。第3の2(1)の学習を具体的な記録で確かめる。

指摘 2：活動だけで終わらないか。

返し：自分のノートから振り子の長さや往復する時間、電磁石の巻数と強さの記録を選び、最初の予想、調べ方、結果、説明を並べる。変える条件とそろえる条件を決めた確かめ方に印を付け、まだ説明できない部分を仲間の記録と比べる。学習していない単元は対象にしない。活動後に中心の問いへ戻り、事実と説明を線でつなぐ。第3の2(1)で求める理解と表現をそこで確かめる。

指摘 3：予想と違う結果が出た場合はどうするか。

返し：面白かったという感想だけにせず、記録のどの結果から分かったのかを指して説明する。友達と異なる結果は消してそろえず、調べた条件を比較する。予想に合わせて結果を書き換えず、条件や資料の読み方を再確認する。第3の2(1)に関わる考えを見直す学習として扱う。

指摘 4：説明や記述が難しい子にはどうするか。

返し：比較する記録を並べ、対象・条件・時期を指差して話せるようにする。分かったことと残った問題を分ける活動では、教師が比較の視点を示してから児童の言葉で説明を聞く。代筆や図の使用は認めるが、考えそのものを教師が決めない。

指摘 5：安全や個人への配慮は何か。

返し：新しい危険な実験は追加せず蓄積した記録を使う。再実験は教師が安全と器具を確認できるものだけにする。実施前の点検ができない活動は共通の記録資料に替え、第3の2(1)の問いを考える機会を確保する。

指摘 6：資料やICTはどのように使うか。

返し：自分のノートから振り子の長さや往復する時間、電磁石の巻数と強さの記録を選び、最初の予想、調べ方、結果、説明を並べる。変える条件とそろえる条件を決めた確かめ方に印を付け、まだ説明できない部分を仲間の記録と比べる。学習していない単元は対象にしない。画面は拡大や並列表示に使い、端末がなくても印刷した同じ記録で比較できるようにする。ICTの操作の速さは評価しない。

指摘 7：時数の根拠と削る場合の考え方は。

返し：全1時間は啓林館の年間指導計画による。各次の配分は本案の提案である。削る場合も「今年の記録を使うと、まだ残った疑問をどう調べられるだろうか」を追究する記録と説明の時間を残し、同じ資料を読む重複や清書の方法を見直す。安全確認や実物を確かめる過程は省かない。

指摘 8：振り返りと次の指導をどうつなぐか。

返し：「今年の記録を使うと、まだ残った疑問をどう調べられるだろうか」について最初の考え、根拠にした記録、まだ残る疑問を読み比べる。記録を根拠に学び方を説明する活動で根拠が不足した児童には、その記録を次時の導入に戻して確認する。態度は感想の長さではなく、調べ方や説明を見直す行動を継続して見る。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

